

支援センターだより

令和2年12月24日発行

岐阜本巣特別支援学校

地域支援センター部 第6号

支援センターの支援具 貸出事例①

地域支援【ぎふもとす
コネクション】より

地域支援センターでは、本校に在籍している児童生徒やそのご家族の支援に加えて、地域の方々や教育や療育に関係するの方々に対して相談や情報提供を行っています。コロナ禍ではありますが、感染防止に留意しつつ、支援具・教材の貸出をしています。今回は実際に、校外支援・地域支援で活用した支援具等をご紹介します。従来通り、本校在籍の児童生徒の皆さんにも貸出をしていますので、**興味のある方は、担任の先生を通して支援センターまでお知らせください。**

本校にも、イヤーマフを使用している児童生徒がたくさんいます。いろいろな遮音率・カラーのものが販売されています。



試しにちょっと使ってみたい！



騒がしい状況や大きな音が苦手！

(聴覚過敏の子への支援具)

コロナ禍での3か月の休校中、静かな自宅で過ごし、分散登校で少人数での授業からスタートした子どもたちの中には、通常の学校生活がスタートして、ざわざわした教室の環境や校内放送、音楽の時間や友達の声に対して、落ち着かなかったりつらさを感じたりする子がいます。集会や放送等スピーカーからの音楽がうるさくて嫌だ、友達の声がうるさくて嫌だというケースが多くあります。静かで落ち着ける環境を調整することが大切になりますが、学校では静かな環境を作ることが難しい状況もあります。

「聴覚過敏」は、生理的・心理的な問題によるものがあり、聴覚過敏＝耳栓と考えず原因を探るアプローチが大切になってきますが、対応の一つとしてイヤーマフや耳栓などで音を減衰することが考えられます。

「友達の声がうるさいと言って落ち着かない」というケースの場合、単純に友達の声が大きくてうるさい（音圧が大きいのが不快）のかもしれませんが、大勢の声が一斉に聞こえるからうるさい（一斉にごちゃごちゃ聞こえるのが不快）のかもしれませんが、特定の種類や人の声が苦手（その音そのものが不快）とを感じるのかもしれませんが、全ての場合にイヤーマフ等の効果があるわけではありませんが、使用を試してみるケースがありました。



イヤーマフ

【イヤーマフ】 小さなKIDS用、遮音率が高いもの・通常レベルのもの等数種類あります。イヤーマフは人の声のみ等周波数のターゲットを絞って遮音することは難しいですが、全体的に遮音することができます。頭に着けることに対して抵抗する子や耳への圧迫や閉塞感が苦手な子もいますので、装用できるかどうかや装用した時の効果などを試すために貸出をしています。実際に貸出を通して購入につながるケースも多いです。



デジタル耳栓

【デジタル耳栓】 環境騒音（乗り物内の騒音やエアコンの空調音、機械のモーター音など300Hz以下の定常音）を低減させるノイズキャンセリング機能が付いています。定常音による騒音がある環境で話を聞きたいときに効果があり、逆に、人の声等それ以上の周波数成分の多い音の減衰に対しては効果がないことが予想され、「子供の声がうるさいと感じる」等の場合はイヤーマフの方が効果があるかもしれません。電車や飛行機の中、特に勉強中や試験中など集中したいときに装用すると効果がある、というケースがありました。

じっと座っていることが苦手！

(姿勢保持のための支援具)

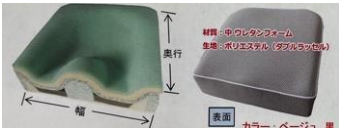
支援センターには、いくつかの姿勢保持のための支援具があります。肢体不自由のための姿勢保持支援具だけでなく、体幹が弱い子どもや落ち着かない子どもたちのための支援具もあります。

【姿勢保持用椅子 ザフ システム スクール】 https://tobiraco.co.jp/item/zafu_school/



ザフ

体幹の弱い子が楽に座り姿勢をキープできる椅子です。人間が座る時の骨盤の動きを丸ごと受け止める設計のため、体をゆだねるだけで姿勢を保持することができます。本校にはSサイズ(適応身長105~135cm)、Lサイズ(適応身長120~180cm)のデモ椅子があります。対応する机は、Sサイズ1号(高さ460)~3号(高さ580)、Lサイズ2号(高さ520)~6号(高さ760)です。



座位保持クッション SUPPO

【座位保持クッション SUPPO】 <https://www.uretan-makura.jp/>

長く座ることができない、座っている姿勢が悪い、勉強に集中できていない、長時間のデスクワークをしているといった場合への姿勢保持のためのウレタン製のクッションです。本校にはSサイズ(適応身長120cm)、Lサイズ(適応身長140cm~)のデモクッションがあります。業者では、手作り用キットも販売しています。



バランスクッション

【バランスクッション】

体に必要なバランス感覚を養うためのクッションです。体幹を鍛え、バランス感覚を養うために使用するだけでなく、多動傾向の子が落ち着く場合もあります。本校では、セラピーボールの上で落ち着ける子が座学の際に使用している例があります。

【くるっと保持マット】



くるっと保持マット

肢体不自由・ADHDの子の姿勢維持をサポートします。ソフトなスポンジのマットを端から巻いていき、個に合わせて姿勢を安定させる姿勢保持用品です。マットの片面には面ファスナーが付いており、巻いていくだけで自由な大きさや形状が作れます。椅子の座面や背面に固定して使用できます。



家でも作って使ってみたい！

活動に見通しをもつためのカード等を作成したい！



【視覚シンボルで楽々コミュニケーション CD-ROM付き】 <http://droplet.ddo.jp/drops/>

ドロップス (Drops: The Dynamic and Resizable Open Picture Symbols) は、視覚支援のためのシンボル集です。ドロップスを使ってウェブ・ブラウザ上で VOCA 機能を使ったり、コミュニケーション・ボードや絵カード、スケジュール、学習用の素材、掲示物などに活用したりすることができます。無料素材のダウンロードもできますが、付属のCD-ROMは素材数が多いです。本校では、コミュニケーションツールとしての絵カードや、スケジュール等に使用しています。幼稚園や小学校においても、行事のスケジュールや手順表、約束などの視覚教材に使用しているケースがあります。



岐阜本巣特別支援学校 地域支援センター (担当：特別支援教育コーディネーター 松本)

TEL 058-239-9712 E-MAIL c27398@gifu-net.ed.jp

センター直通携帯電話 090-6806-3774